



ボランティアセンターだより

2020年9月 No. 142号



フードドライブにご協力ください!

コープこうべで行っているフードドライブ活動にご協力いただける方を募集しています。下記の日程で社協にてお預かりをしますので、ご協力をお願いいたします。

日程：令和2年 **9月15日** (火) ~ **18日** (金)

受付：南あわじ市社協まで持ってきてください

○ 寄付いただきたい食品

- お米 (白米・玄米・アルファ米)
- 缶詰・レトルト・インスタント食品
- 海苔・お茶漬け・ふりかけ
- 粉ミルク・離乳食・お菓子
- 調味料 (醤油、食用油など) など

1ヶ月以上賞味期限が残っている
常温保存可能なもの

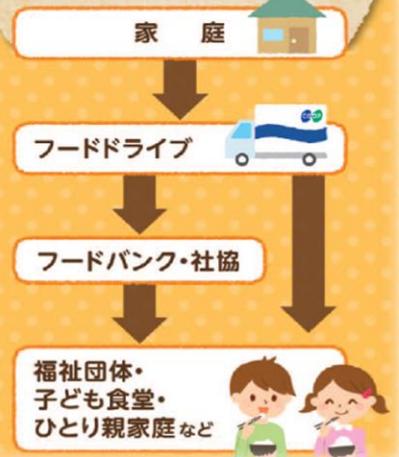
✕ 受付できない食品

- ✕ 賞味期限が1ヶ月を切っているもの
- ✕ 開封されているもの (お米除く)
- ✕ 生鮮食品 (生肉・魚介類・生野菜)
- ✕ アルコール (みりん、料理酒除く)

ごめんねさい... 上記食品は、
お持ちいただいても受取できません。
ご理解・ご協力をお願いいたします。

“フードドライブ”とは?

家庭で余っている食べきれない食品などを持ち寄り、それを必要としている人にお届けする活動です。



ご協力いただいた食品は3市社協を通して淡路島内で活用させていただきます!

高次脳機能障害家族会「いざなぎ」からお知らせ

「18歳のビュッパン〜あけび書房〜」の著書
小林春彦ソーシャルディスタンス独演会

見えない障がい (高次脳機能障がい)

から学び新時代のバリアフリー

日時：9月22日 (火) 14時~16時30分

場所：洲本市文化体育館

要申込

参加費：無料

小林さんは18歳の時、脳を損傷し、複数の後遺症を抱える中途障がい者になりながらも、見えない障がいと言われる高次脳機能障がいの啓蒙活動を行っています。障がいの有無とは関係ない、医療や福祉の現場にいる方、ご家族の介護をされている方、何らかの悩みを抱えて生きているあなたにとって大きく視野の広がる刺激的な時間になるはずですよ。



問合せ：0799-70-1575 (いざなぎ事務局杉山)

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止となる場合があります

高齢者元気活躍推進事業

おもいやりポイント制度登録説明会

南あわじ市では、「おもいやりポイント制度」への参加者を募集しています。

日時：9月18日 (金) 午後2時~3時30分

場所：北阿万地区公民館 会議室1・2

内容：「おもいやりポイント制度」について

「北阿万小学校」での活動紹介

要予約です。興味のある方は、

南あわじ市総務企画部市民協働課生涯活躍推進室

電話 43-5244 まで連絡してください。



「日÷秋」はなんでしょう?

ヒント：分数で考えてみましょう

答えは裏面

発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064

TEL: 44-3007 FAX: 44-3037

MAIL: info@minamiawaji-shakyo.or.jp





9月は
世界アルツハイマー
月間

2020.9



わかって！認知症

認知症とは老いを伴う病気のひとつです。どんな病気もそうですが、絶対にならないようにするためにはこうしておけば安心(^_^)-☆といわれるものがないところが、なんとも漠然とした恐ろしさです。

なぜ「恐ろしい。嫌だ。なりたくない」と思うのか!?それは認知症が治らない病気であり、認知症の人を取り巻く家族の方たちの大変さを少なからず知っているからです。特に身近な人が認知症になることに対する恐ろしさがあります。自身の大切なパートナーや、両親などの場合はなおさらです。また、本人自身も変わりつつある過程を経験していくことは、かなりの不安があることは確かです。俗に言う「まだら」と言われる頃になりますが、どうして自分は出来ないのか、忘れてしまったのか、思い出せないのか、言葉には出なくともいたたまれない時が存在すると思います。そのような時、取り巻く環境の理解や、適当な時期にその人に合った薬を投与することにより進行を緩やかにすることもできます。



理論を言うことは簡単ですが、支えていく家族は大変な精神力と体力がいります。そのため、介護保険を使ったプロの介護者に助けてもらうのも一手です。介護者はリフレッシュをし、介護のための体力と気力を補います。その大切な場のひとつが「認知症を支える家族の会」なのかもしれません。同じ悩みやしんどさを知っている仲間だからこそ聞いてもらえることも多いですよ。また、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、社協も一緒に参加

することで専門的な話もできます。「認知症を支える家族の会スマイル」の代表者の森邦彦さんは、長年家族を看てこられた方です。「認知症の家族の相談事について!」「聞いてほしい話があるんや」「認知症の事が聞きたいねん」「私がかつてること教えてあげるよ」など伝えたい思いや相談などを自由に話せる場なので、一度お越しになってみてはいかがでしょうか。

認知症を支える家族の会

スマイル

日時：毎月第2水曜

14時～

場所：中央公民館

もっと知りたい!
認知症

認知症サポーター養成講座



認知症サポーターキャラバン

平成17年より厚生労働省は「認知症サポートキャラバン」事業を開始しました。「認知症サポーター養成講座」を開催し、受講した人は「認知症サポーター」となります。認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者となります。認知症サポーターには「認知症の人を応援します」という意思を示すオレンジ

認知症サポーターって何なん?

正しく認知症を理解し、認知症の人とその家族を応援することやで!「認知症サポーター養成講座」を受けると、オレンジリングがもらえるねんで~このオレンジの色は温かさを感じさせ、「手助けをします」という意味があるんや。って☆マスコットの「Oバ隊長」も一歩一歩急がず着実に歩むという意味があつて、めっちゃかわいいで(*^-^)

リング(ブレスレット)が渡されます。南あわじ市では地域包括支援センターからの依頼を受けて、各地区にある在宅介護支援センターの職員が講師となり楽しい寸劇や話で認知症の事を教えてくれます。詳しくは地域包括支援センターまでお問い合わせください。

☎43-5237



秋分の日

水木

秋なぞなぞの答え →

